

地域の将来像：住んでいる人々が誇れる郷 明日の小山田の創造

コミュニティだより 2023.11.15 第71号

明日の小山田を考える会の目的は、住んで良かった・ずっと住み続けたい・住み良い地域を創ることです。そのためには、地域の皆さんの積極的な関わりが必要です。

昭和の時代にタイムスリップ!



8月22日から5回の開催でスタートした今年度の「にここサロン」の3回目を9月23日に開催しました。今回は、外出の機会が少ない高齢者のために、バスハイク「宮沢賢治と昭和の学校」を企画し、スタッフを含め19名が参加しました。「昭和の学校」では昭和時代の家電や日用雑貨、そして昭和の時代を再現したお店の展示を見て、昔話に盛り上がっていました。



午後には、歴史ボランティアガイドの大森さんの案内で「宮沢賢治の家・羅須地人協会」と「宮沢賢治記念館」を見学しました。大森さんの説明の中で、「宮沢賢治は新しい農村の建設を目指し、自ら地人となり、農業を指導する傍ら、童話や詩の執筆に生涯携わった」との事です。岩手花巻のすごい偉人ですね。



将来の小山田の農業を支える若者たち part 2



9月10日第2回「地域農業担い手育成塾」を開催しました。今回は事例研修ということで、一関市舞川の「(農)アグリパーク舞川」の小野正一氏と一関市千厩町の「(農)おくとま農産」を訪ねてきました。舞川地区は北上川に隣接するため、昭和に2度の大型台風による甚大な水害を受けたことをきっかけに、洪水調整、市街地への水害防止、中小洪水の遊水地内への氾濫防止の3つの



目的から計画・整備されたそうです。この遊水地には民家が一軒もなく大規模な営農が可能となったことから、1区画5haという圃場規模に圧倒されました。いち早く水田乾田直播導入したことや、ASIA GAPの認証を得たとの話をお聞きし大変参考になりました。また、「(農)おくとま農産」では



高齢化と担い手不足から、7つの営農組織を統合し農事組合法人をスタートさせ、176haの農地を地域の担い手として取組んでいるそうです。直播栽培やホバークラフトによる除草剤散布など稲作のコスト低減に向けた取組も行っていました。



若者たちよ！参考になったかな (^^)v

あきらめず最後まで走り切ったぞ!



8月19日と9月2日・9日の三日間、「まほろばの郷かけっこ教室」の長距離走教室を、引続きセントラルフィットネスクラブ24盛岡の尾芝コーチのご指導をいただき開催しました。初回は旧小山田小学校グラウンド、2回目は和田多目的広場、3回目は振興センターと周囲の市道を会場に、長距離走の基礎練習と最終日には学年毎にマラソン大会



の実際の距離を走ってみました。今回初めて参加した1年生の児童は、実際の距離でのペースが上手く取れず、途中歩く姿もありましたが、あきらめることなく最後まで走り切りました。頑張り屋さんですね! 9日の教室最終日には、

7回の教室に休まず参加した児童への皆勤賞と短距離走でタイムが縮まった上位3名の児童それぞれを表彰しました。来年7月26日から15日間、夏季オリンピック大会がフランス・パリで開催されます。将来のオリンピック選手を目指して、頑張り!



ホールインワン続出!! 歓声と笑い声



10月21日、前日の雨でコース状態が心配されましたが、今年度2回目のグラウンドゴルフ大会を旧小山田小学校グラウンドを会場に20名のプレイヤーが参加し熱戦が繰り広げられました。小雨や日差しがさすという変化多彩な天候でしたが、参加者はそんなことは全く気にせず、頭や首にタオルを



グラウンドゴルフ大会成績表		
優勝	浅沼 正昭	(南川目)
準優勝	田辺 静江	(駒形)
第三位	菊池 成俊	(中川目)
第四位	菅原 秋代	(前田)
第五位	田辺 信夫	(駒形)

巻きながらプレーを楽しんでいました。第1回大会ではホールインワンが2ホールでしたが、今大会では1プレイヤーが2ホール出すなど6ホールと続出しました。成績はご覧のとおりです。来年は皆さんも参加してみませんか!!



自分好みに染めた作品に大満足



10月24日、南成島の佐野静子さんを講師にお招きし、第3弾フラワー講座「山の幸染め」に7名の参加をいただき開催しました。紅葉や草花の押し花をスカーフやハンカチなどに散りばめ、オリジナルの作品に仕上げていました。皆さんは、それを身に付けて何処へお出かけするのかな。



日に日に寒暖差が増し、冬がすぐ近くに

10月17日、今年4回目の「にこにこサロン」終了後、サロン会員の協力をいただき小山田振興センターの避難訓練を実施しました。花巻中央消防署員からの指導をいただきながら、通報・初期消火・避難誘導と一連の動作訓練をしました。訓練終了後には、水消火器を使っての消火訓練を体験していただきました。実際に消火器を使った事のある方は少なく、戸惑う方がほとんどでした。また、これから火を取扱う機会が多くなること

から、着衣着火にならないための注意事項と、なった時の対処方法についてのお話をいただきました。



保育園児もステージで踊りをご披露

今年度最後となった11月6日の「にこにこサロン」では、花巻警察署交通課長代理の佐々木警部補、小山田駐在所の奥谷巡査部長をお招きし高齢者のための交通安全教室を開催しました。

モニターに映し出されたドライバー目線での危険察知や、機材を使っての反射動作の確認など実技を中心とした教室となりました。その後、小山田保育園の年長・年中の園児による神楽の舞いと、年少園児によるお遊戯の披露をいただき、参加されたサ



ロン会員の皆さんは園児に大拍手を送っていました。また、小山田の美女たちによる舞踊のご披露もいただき、優美な舞いに見入っていました。



【除雪作業にお困りの高齢者等に耳よりの情報】



10月17日、岩手山の初冠雪が発表され、今年もいよいよ雪の季節到来となりました。花巻市の軽度生活援助事業登録者以外で、おおむね65歳以上の一人暮らしの高齢者及び高齢者のみの世帯で、別居の家族、親族等からの除雪の支援を受けることの出来ない世帯を対象に、自力での除雪作業が困難な方々を支援します。除雪作業でお困りの方は、各行政区長・民生児童委員又は事務局へご連絡ください。なお、除雪機運搬費と燃料費は当会よりの助成となります。【除雪作業料：1,400円/時間】

= 令和5年度 小山田地区市政懇談会の内容と回答 =

7月10日に当地区で開催された「令和5年度市政懇談会」の内容と回答について市より報告がありましたので、地域の皆様にもその内容について要点をかいつまんでお知らせいたします。



【テーマ①】令和4年9月に県が発令した「新たな土砂災害の発生のおそれがある箇所」に該当したことに伴う小山田振興センターの移転について。

《回答》県では、今回抽出された箇所については令和5年度から9年度に基礎調査を行い、調査完了後に順次、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域の指定を行っていくと伺っている。現時点においてはこの基礎調査の動向を注視していきたいと考えている。

【テーマ②】少子化に伴う花巻市内の保育園等の今後について

《回答》公立園が地域における保育・教育を保証する役割を果たすことが前提であるが、一定の集団の中で得られる、コミュニケーション能力や社会性など、子どもの育ちに必要な保育・教育環境を確保することも重要であると捉えている。今年度は小山田保育園を利用する保護者に対し、現在の利用状況や今後の見込み、極小規模での保育のメリット・デメリットについて情報提供し、今後の在り方について一緒に検討していくことが必要と考えている。子どもたちにとって最善の保育等をどのように考えておられるのか、まずは保護者との懇談を進めていきたい。

【フリートーク①】市が管理する野球場の使用料について（石鳩岡・千葉功 氏）

《回答》合併後10年以上もたっており、利用者の区分の統一も含めて各施設の建築年数や設備の状況を勘案し、適正な料金を検討する。なお、当面は大きな差が出ないように減免基準の改定により対応することも検討する。

【フリートーク②】日中を含めた除雪対応と乗合タクシーについて（北前田・千葉良一 氏）

《回答》路面の凍結で通行が危ないという状況や除雪が十分ではないことは理解している。除雪業者が不足していることや費用面からすれば、これ以上の対応は難しい。乗合タクシーについては、釜石線やバス路線を維持するための支援補助を含め考えていきたい。

【フリートーク③】畑地化交付金について（北川目・吉田正志 氏）

《回答》今後国内でも粗飼料を作って農地を守っていくというのも一つの選択肢と考えている。今後どのように農業を進めていくかということは皆さんと話し合っていく必要があると思っており、市としては畑地化交付金を長く続けてもらえるよう継続して要望していきたい。

令和5年10月末現在

() : 前月比

小山田の人口	世帯数/戸	男/人	女/人	計/人
第1行政区	56 (0)	80 (0)	68 (0)	148 (0)
第2行政区	145 (0)	190 (1)	184 (-1)	374 (0)
第3行政区	151 (0)	198 (-1)	222 (0)	420 (-1)
第4行政区	112 (0)	171 (0)	163 (0)	334 (0)
計	464 (0)	639 (0)	637 (-1)	1,276 (-1)

※花巻市住民登録人口集計表を基に作成しています



大きさにビツ栗（霜ぐり）
(北前田/2023.11.8撮影)

～ 編集後記 ～

先月の新聞に、花巻市内の中学校で給食のご飯にカエルの遺骸が混入していたとの記事が載っていました。体長2センチほどで容器のふたを開けた生徒が見つけたそうです。口にはせず健康被害はなかったものの、びっくりしたに違いないでしょう。また、市HPでは発生時・発生後の対応と今後の対応、再発防止の取組については述べられていましたが、発生後の生徒への心のケアについては触れられていませんでした。一番重要な事だと思っておりますがね。(菊池)



発行：明日の小山田を考える会 電話：0198-42-2941
ホームページ：http://www.asuno-oyamada.jp
メールアドレス：asuno-oyamada@tuba.ocn.ne.jp